自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	経営理念「医療・福祉を通じて人々の健康と安らぎを願うと共に、全社員の物心両面での幸せを追求する。」を基に、ホームで独自の理念「相手を思いやる気持ちを持ち、全員が一日安全で楽しい生活を送れるように笑顔でサービスをする。」を掲げ、日頃のケアの考え方の土台として実践している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の行事や商店街のお祭りのボランティアとして参加したり、近隣の学校の職場体験学習として学生を受け入れたりしている。	・地域の協力及び理解を得られるよう、事業所として積極的に交流を深める活動をしている。 ・色々な方達と交流ができて良いと思います。 ・自分の住んでいた地域があって、認知症になってひといちの住民になっているのでどう感じているのかなと思う。 ・昔は静かな所が良いと、街中ではなく人里離れた所に施設があったが、商店街にあることはメリットがある。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2か月に1度地域の方や利用者家族に会議に参加して頂き、施設の取り組みやサービス状況の報告、意見交換を行っている。またその内容を施設内で回覧周知しサービス向上に努めている。	・日ごろの施設内状況等を詳細に報告しており、出席者からの意見を運営に活用しようとする姿勢が十分感じられる。 ・会議にはできるだけ参加しようと思っている。話を聞くだけでも自分の為になる。 ・避難訓練や心肺蘇生の訓練などを会議の内容に含み実施していきたい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行政の届け出や加算要件についての相談や、運営推進会議を通して施設や市町村で起こっている状況について情報交換をしている。	・遅延することなく報告及び相談を行っており、十分な協力体制が築けていると認められる。 ・市や民生委員の方の話で知らない情報が聞けて良かったです。		

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2か月に1度職員が講師になり内部研修を行っている。また、法人内外の研修にも参加しスキルアップに努めている。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域密着型サービス協会や市が開催する集まりに参加し、情報交換や勉強会を通して交流している。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の残存能力に合わせて食事作りや掃除、洗濯干しなど日常の生活の中でできる所は一緒に行い、できない所をサポートしながら自立支援を行っている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要時は家族が通院を行ったり、月に1度かわら版を作成し写真を取り入れながら日頃の様子を伝え、関係が途切れないようにしている。またお盆や家族の会食などライフイベントへの参加ができるように柔軟な対応をしている。	・イベントへの家族参加や、利用者の状況を広報等により家族へ伝えるなど、関係継続支援を行っていると認められる。 ・面会後の錯覚、妄想が起きて迷惑になるので兄弟、親戚の面会は望みません。冷たいと思われるでしょうけど。 ・コロナ流行時タブレットを導入してオンライン面会の体制を整えたが実施には至っていない。今後行っていくのであればズームやSNSの活用を行って情報発信していきたい。ただ個人情報の意思確認は必須とする。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的にアセスメントを行い、本人の希望や意向の把握に努めている。また、日々の生活の中で聞いた情報は記録し、会議などで話し合い、職員間で共有・実践している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディ	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活の中で思いや意見を聞きながら、月1度のケアカンファレンス時、居室担当を中心にモニタリングを行い、新たな課題は	・モニタリングにより利用者の状況を把握し、本人や家族の要望を取り入れながらケアプラン作成を行っている様子が見られる。	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には入院先へADLや施設での暮らしの様子などの情報を書面にて提供している。入院中も病院との情報交換を定期的に行い、利用者の状況把握に努めている。退院時はカンファレンスを行い、病院と事業所が情報交換や相談ができる環境が整っている。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人にはアセスメント時に今後どのように暮らしたいか聞き取りを行っている。また家族には、入居時や定期的に終末期に関する意向確認を家族に行っている。医療行為を行っていないことは本人や家族へ伝えており、必要時はスムーズに医療機関や他施設を利用できるように支援している。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時のマニュアルをもとに、フローチャートはいつでも確認できるように掲示している。また救命救急の研修を年1回実施し、全職員が対応・実践できるように努めている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	災害時マニュアルを作成しており、日中・夜間想定の年に2回の避難訓練を実施している。今年は実際に夜間の時間帯に訓練を行い新たな発見や問題点を見つけだし実践している。また運営推進会議を利用して建物内の構造を把握して頂き、避難誘導の理解など地域の協力体制を築いている。自然災害や感染予防のBCPや備蓄の管理も定期的に見直しており緊急時に備えている。	・災害時マニュアル作成及び避難訓練を毎年実施しているほか、地域の協力体制も構築しており、災害発生時には適切な行動が行えるよう、継続した取り組みが期待される。 ・訓練を行う方たちは大変でしょうと思います。安全第一考えながら実施は大変な事だと思います。 ・遠野小学校が避難場所になっているが実際はそこまで避難は難しいのではないか。 ・水害の際は垂直避難を行うことにしている。	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人の能力に合わせて、歯ブラシやコップの準備、うがいやブラッシングの支援を行っている。また、食事の前に口腔体操を行い誤嚥やむせ込みの予防に努めている。令和6年度より口腔・栄養スクリーニングを実施している。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別の排泄パターンの把握に努め、声掛けや誘導を行っている。本人の意向に沿い、なるべくトイレでの排泄ができるように支援している。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴日はあるが、本人の希望や体調に合わせて柔軟に対応している。また入浴剤など利用して、温泉気分や季節が感じられる入浴も提供している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	24時間シートを作成して個々の生活習慣を把握し、体調や気分をみながら、利用者それぞれの就寝時間に合わせて休息できるよう支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬局に協力を頂き、各利用者の薬の情報共有を行っている。また薬の提供に間違いがないかダブルチェックを行い、内服時は名前・日付・いつの薬か本人に確認してから提供している。薬の内容についてはカルテに挟んであり、すぐに確認できるようになっており、新しく内服する薬に関しては情報共有を行い、変化を記録するように努めている。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントや日常の関わりから利用者の得意な事、好きな事を見つけ、家事全般（食材を切る、洗濯物をたたむなど）や裁縫、歌をうたうなどを日常に取り入れた	・アセスメントにより、利用者に寄り添った支援が行われているものと感じられる。 ・家ではあまりすることがない事でも、ホームの中ではよくやっている写真をみてびっくりしています。		

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の思いを聞き取りし、24時間シートを作成しそれを基に暮らしを支援するように努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事前に生活歴を聞き取りし、好きな事ややりたいことは継続して行うことができ、個々の意向に沿った対応に努めている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタルチェックや食事・水分量の把握に努め、利用者の体調や状態に応じて、必要時はメニューを変更したり、福祉用具を使用し、安全安楽に過ごしてもらえるようなケアを提供するように努めている。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設の基本的なペースはあるが無理強いはせず、過去の生活歴を把握し本人のペースにあわせて生活できるように支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の写真や大切にしている物、家族から届いた花などを自室に飾ったり好みのものを置いている。また自分の衣類を部屋に干したり、自由に服を選べるようにしている。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活の中から意向や希望を聞き取りし、受診の希望があれば日程を調整したり、地域のお祭りなども見学できるように支援を行っている。	・本人の希望を叶えるためには家族の支援も必要なので引き続き協力をお願いしたい。 ・雨の中一人だけにでもお祭りを見せて頂きありがとうございます。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の能力にあわせて掃除や料理、洗濯干しなどを行っている。レクリエーション活動はなるべく全員がわかりやすいものを取り入れて参加できるように支援している。			